



取扱説明書

テープ起こし支援ソフト

Voice Writing Light Edition

Ver.1.2



このたびは、ボイススピリッツ製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
Copyright © 2009 - 2010 VoiceSpirits Co., Ltd.

このソフトウェアについて

Voice Writing Light Edition Ver.1.2(以降、「Voice Writing」と記載します。)は、音声データを再生して、文字書き起こし(タイピング)を行うテープ起こし支援ソフトウェアです。

再生・一時停止などがキーボード(自由に設定したキー)で行えます。

ユーザー登録は、バージョンアップ・新製品のお知らせ、不具合発生時のお知らせの連絡窓口となりますので、是非とも登録いただきますようお願い申し上げます。

また、自由に書き込みが可能な掲示板(情報交換の広場)もご利用頂けるようになります。

●ユーザー登録をするには

下記のホームページ

http://www.voicespirits.co.jp/voice_writing/regist/

画面の内容に従ってユーザー登録を行ってください。

はじめにお読みください

■本ソフトウェアの使用上のお願い

- Voice Writing は、フリーソフトのため、個別のサポートを行っておりません。
ホームページにサポート情報を掲載しています。
http://www.voicespirits.co.jp/voice_writing/support/
- 弊社、開発協力会社および代理店等は、本ソフトの瑕疵担保責任、その他一切の保証責任を負わないものとします。
また、弊社、開発協力会社および代理店等は、本ソフトおよび関連資料に関して、いかなる保証も行いません。
- Voice Writing の上位 Edition にのみ搭載している機能は、メニューおよびボタンの一部がグレーで表示され、選択できません。
ご利用できないことを示すダイアログが表示される場合もあります。
- システムリソースの不足により起動できない場合は、他のソフトウェアを終了してから起動し直してください。

■本書の内容について

- お使いのパソコン環境によっては、本書の説明・画面と実際の内容・画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。
- 本書では、OS が Windows XP のときに表示される操作画面例を使用しています。また、本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。
- 本製品、および本書の内容に関しましては、予告なしに変更することがあります。
- 本書では、参照いただくページを「(→00)」で示しています。
- パソコンの基本的な操作・用語については説明しておりません。パソコン側の説明書などをお読みください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。

もくじ

このソフトウェアについて	2	インデックスを使う	16
はじめにお読みください	2	再生位置にインデックスを付ける	16
必要なシステム構成	4	インデックスを削除する	16
扱える音声ファイル形式	4	インデックス位置から再生する	16
起動と終了	5	メモ機能を使う	17
起動する	5	メモ領域にコメントを入力する	17
終了する	5	カウンターで再生位置を示す	17
Voice Writing の画面について	6	カウンター指定	18
書き起こしキーの設定	8	表示項目設定	19
巻き戻しの秒数	9	一時領域設定	20
早戻し/早送りの秒数	9	メニュー一覧	21
選択範囲の移動秒数	10	プルダウンメニュー	21
Voice Writing を使う	11	右クリックメニュー	22
保存できるファイル形式	12	アンインストールする	23
書き起こしウィンドウのボタン	12	Q&A(よくあるご質問)	24
再生機能を使う	13	お問い合わせ先	28
再生操作	13	商標、ライセンス	28
再生速度を変更する	13		
再生範囲について	14		
再生範囲の設定	15		

必要なシステム構成

Voice Writing Light Edition をお使いいただくためには、下記のような性能を満たしたパソコンが必要です。

対応パソコン	下記の日本語版 OS がプリインストールされた IBM PC/AT またはその互換機
OS	<ul style="list-style-type: none">● Windows 7 Starter / Home Basic / Home Premium / Professional / Ultimate● Windows Vista Home Basic / Home Premium / Business / Ultimate● Windows XP Home / Professional
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">● .NET framework 2.0 および、.NET framework 2.0 日本語 Language Pack
その他	<ul style="list-style-type: none">● インターネット接続環境

- 64ビットのオペレーティングシステムには対応していません。
- 管理者の権限を持つユーザー (Administrator) で使用してください。
 - **Windows® 7: / Windows Vista®:**
管理者あるいは標準アカウントのユーザーでログオンしてからご使用ください。
 - **Windows® XP:**
管理者アカウントでログオンしてからご使用ください。(インストール、アンインストールは管理者アカウントのユーザーで行ってください)
- NEC PC-98 シリーズとその互換機では動作保証しません。

扱える音声ファイル形式

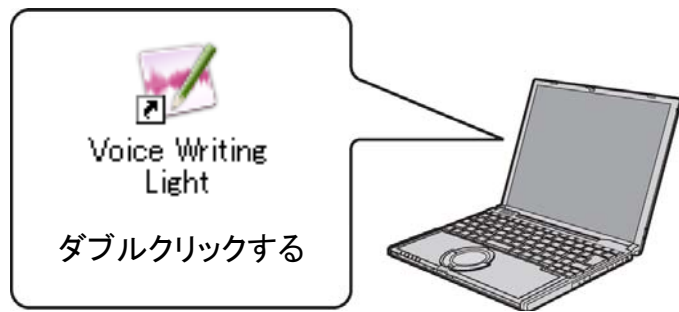
- OS のアップグレード環境での動作は保証しません。Voice Writing Light Edition で使用できる音声ファイル形式は、下記の通りです。

再生できる音声ファイル	MP3 形式ファイル (*.mp3) WMA 形式ファイル (*.wma) WAV 形式ファイル (*.wav)
-------------	--

- WAV 形式ファイルは、PCM のみ再生できます。

起動と終了

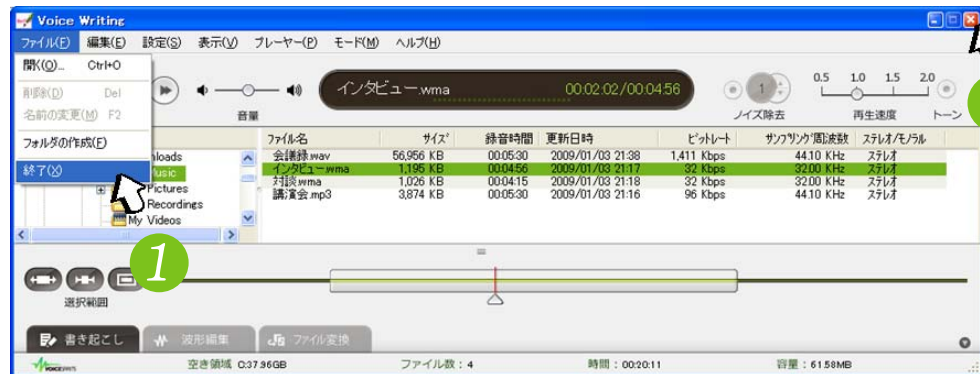
起動する



お知らせ

- 起動時には、前回終了したときの画面状態で起動します。
また、再生位置も前回終了時の再生位置で起動します。

終了する



1 Windows を起動する

2 デスクトップのアイコン をダブルクリックする

または、スタートメニューから[すべてのプログラム]→[VoiceSpirits]→[Voice Writing Light Edition Ver.1.2]→[Voice Writing]を順に選ぶ。

1 画面右上の をクリックする

または[ファイル]メニューから[終了]を選ぶ。

Voice Writing の画面について

Voice Writing では、上窓で音声ファイルを再生し、下窓で書き起こし作業を行います。
下窓は開閉できます。下図は下窓を閉じている状態です。

お知らせ

●上位 Edition にのみ搭載している機能は、グレーで表示されます。

選択している音声ファイル名が表示されます。

再生時間のカウンターと録音時間が表示されます。

プルダウンメニュー(→22)

音声ファイルの再生速度を切り替えます。(→13)

マウスカーソルを重ねると、機能の説明と割り当てキーが表示されます。

再生(Caps Lock)

フォルダー表示領域

音声ファイル表示領域取り扱える音声データのみ表示されます。

ファイル名	サイズ	録音時間	更新日時	ビットレート	サンプリング周波数	ステレオ/モノラル
会議録.wav	56,956 KB	00:05:30	2009/01/03 21:38	1,411 Kbps	44,100 KHz	ステレオ
インタビュー.wma	1,195 KB	00:04:56	2009/01/03 21:17	32 Kbps	32,000 KHz	ステレオ
対談.wma	1,026 KB	00:04:15	2009/01/03 21:18	32 Kbps	32,000 KHz	ステレオ
講演会.mp3	3,874 KB	00:05:30	2009/01/03 21:16	96 Kbps	44,100 KHz	ステレオ

クリックすると昇順降順が切り替わります。

音声ファイルの再生範囲を示します。(→14)

書き起こし

書き起こしウィンドウが表示されます。

選択しているドライブ名と空き容量を表示します。

フォルダー内の総再生時間を表示します。

フォルダー内の総ファイル数を表示します。

フォルダー内のファイルの総容量を表示します。

お知らせ

下窓がボタン操作で開かない場合、この部分をマウスで掴んで広げてください。

下窓は、 をクリックすると開きます。(→7)

お知らせ

下窓がボタン操作で開かない場合、この部分をマウスで掴んで広げてください。

次のページに続く

Voice Writing の画面について(つづき)

をクリックすると、「書き起こしウィンドウ」が表示されます。

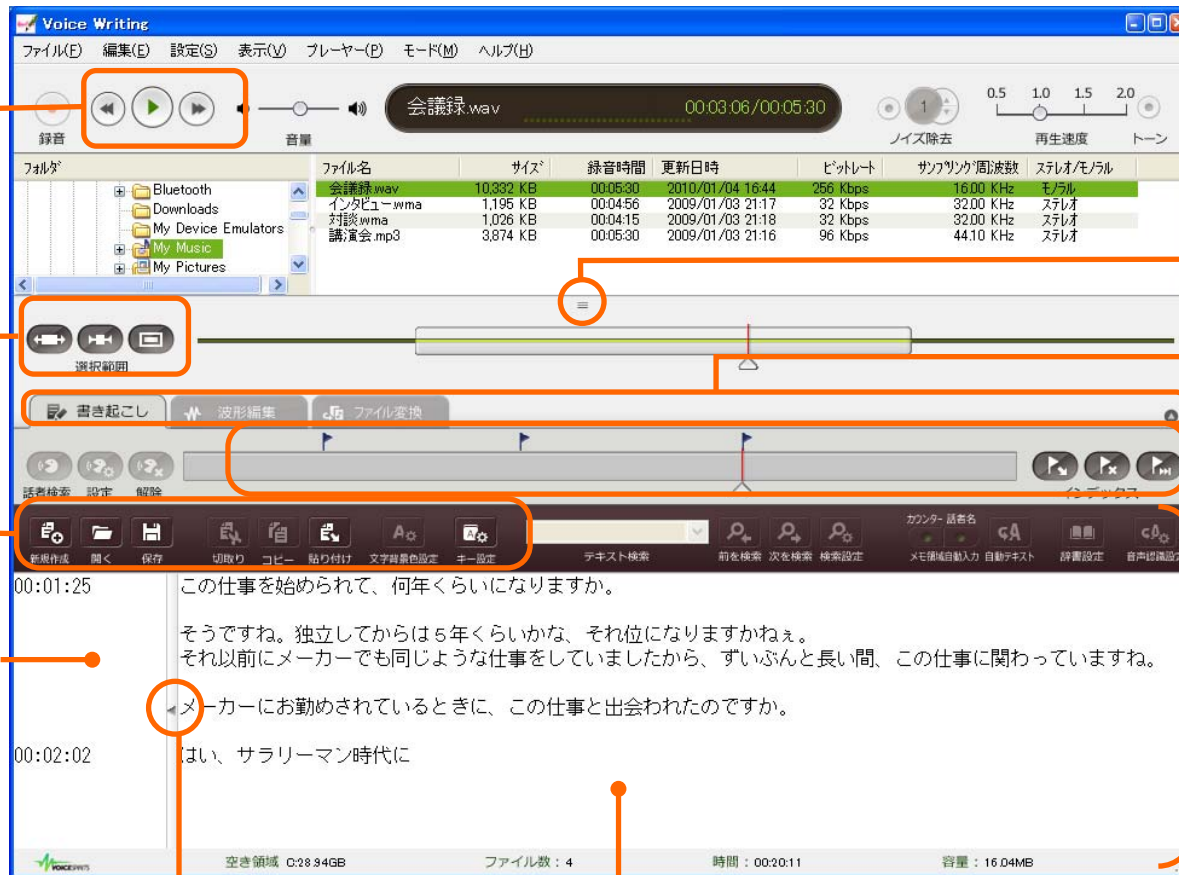
音声ファイルの「再生」、
「一時停止」、
「次のファイルへ」、
「前のファイルへ」、
を行います。(→13)

音声ファイルの再生
範囲を設定します。
(→14)

書き起こしたテキスト
の操作ができます。
(→12)

書き起こし中のメモを
入力できます。(→17)

クリックすると、メモ領域の開閉が
できます。(→17)



ドラッグすると上下の
表示割合が変わります。

クリックすると
下窓が開閉します。

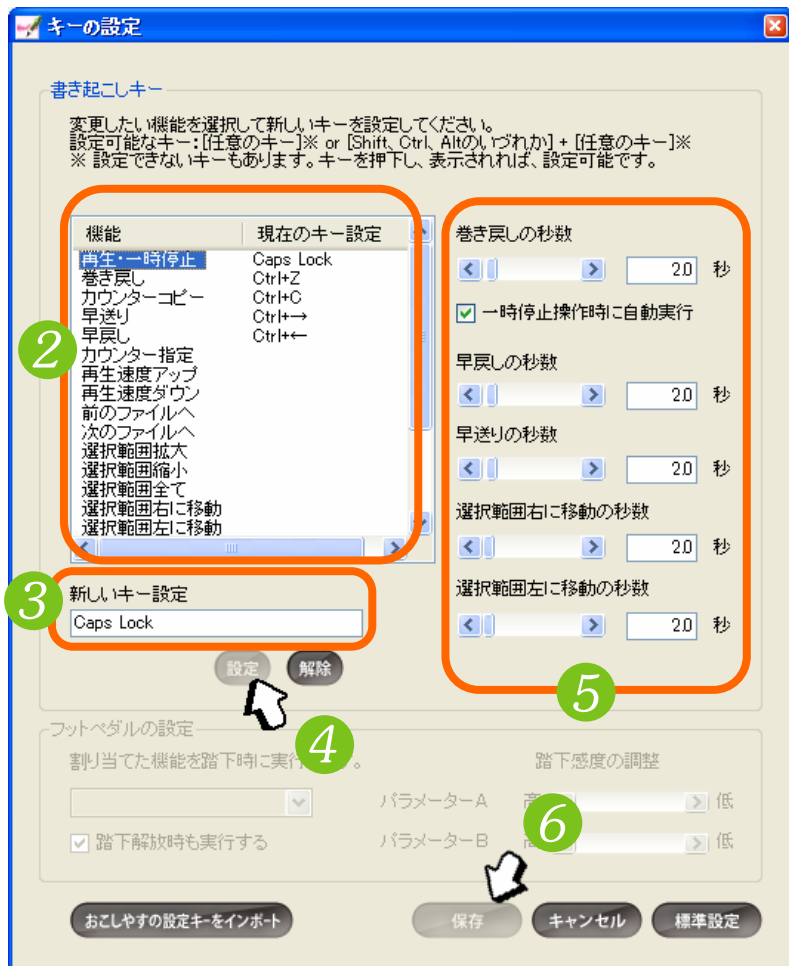
インデックスを
設定します。(→16)

書き起こしウィンドウ

書き起こしたテキストを入力します。(→11)

書き起こしキーの設定


書き起こし作業中、キーボードのキー操作で音声ファイルの再生や一時停止などのコントロールが行えます。



- 1 [設定]メニューから[キーの設定]を選ぶ。
〈キーの設定〉画面が表示されます。
- 2 音声ファイル操作の機能を選ぶ。
- 3 選んだ機能に割り当てるキー操作をキーボードで実際に操作する
- 4 **設定** をクリックする
続けてキーの設定をするには、2 ~ 4 の操作を繰り返します。
- 5 巻き戻し、早戻しなどの秒数を設定する(→9)
- 6 **保存** をクリックする


お知らせ

- 3つのキーを組み合わせることはできません。
- ご使用の環境によっては、設定できないキー、動作しないキーがあります。別のキーを割り当ててください。
- [Shift]、[Ctrl]、[Alt]キーと組み合わせる他に、単独キーにも設定ができます。
- **解除** をクリックすると、キー設定が解除されます。

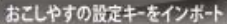

次のページに続く 

書き起こしキーの設定(つづき)

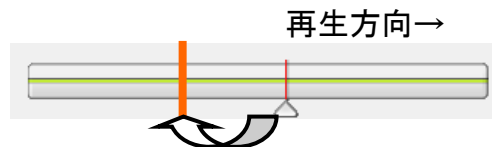
お知らせ

- <キーの設定>画面は、書き起こしウィンドウの  をクリックしても表示されます。
- キーに設定できる機能は、以下の通りです。

機能	機能
再生  一時停止 	選択範囲拡大 
巻き戻し	選択範囲縮小 
カウンターコピー	選択範囲全て 
早送り	選択範囲右に移動 
早戻し	選択範囲左に移動 
カウンター指定	音量アップ 
再生速度アップ	音量ダウン 
再生速度ダウン	インデックスマーク付与 
前のファイルへ 	インデックスマーク削除 
次のファイルへ 	次のインデックスマークへ 

- 既に Voice Writing に割り当てているキーを他の機能(キー)に割り当てることはできません。
- 文書作成支援ソフトの「おこしやす」または「Okoshiyasu2」をインストールしている場合、それらのキー設定の取り込みができます。
 をクリックして、画面の指示に従ってください。
ただし、「おこしやす」または「Okoshiyasu2」のバージョンによっては、インポートできないことがあります。
-  をクリックすると、インストール直後の設定に戻ります。

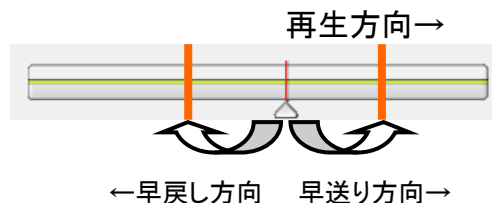
巻き戻しの秒数



「巻き戻し」を設定したキーを操作すると、設定した時間分、再生位置を戻します。

「一時停止時に自動実行」に を付けた場合、一時停止時に設定した時間分、再生位置を戻します。


早戻し/早送りの秒数



「早戻し」または「早送り」を設定したキーを操作すると、設定した時間を1単位として、再生位置を移動します。
設定したキーを押し続けると、連続操作を行います。

お知らせ

- 「巻き戻し」、「早戻し」、「早送り」は、キー操作でのみ使用できます。

次のページに続く 

書き起こしキーの設定(つづき)

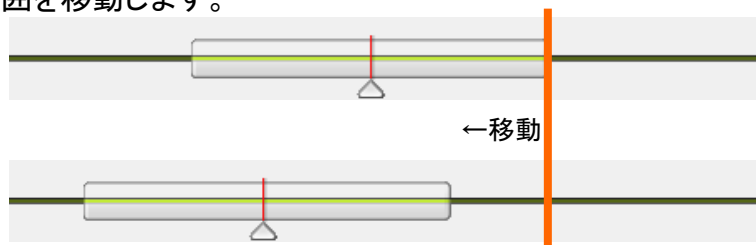
選択範囲の移動秒数

Voice Writing は、音声ファイルの任意の再生位置を選択することができます。(→14)

任意の選択範囲を移動、拡大・縮小することがキー操作でできます。

「選択範囲右に移動」、「選択範囲左に移動」の操作を行えば、選択した部分がそれぞれ移動します。

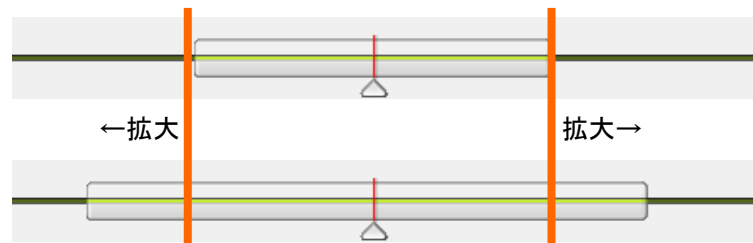
たとえば、「選択範囲左に移動」を設定したキーを操作すると、再生選択範囲が左に設定した時間を 1 単位として、再生選択範囲を移動します。



「選択範囲右に移動」は、再生選択範囲を右に移動します。

また、「選択範囲右に移動の秒数」、「選択範囲左に移動の秒数」の設定は、キーの設定で変更できます。(→8)

「選択範囲拡大」を設定したキーを操作すると、再生選択範囲が左右それぞれに設定した割合を 1 単位として、再生選択範囲を拡大します。



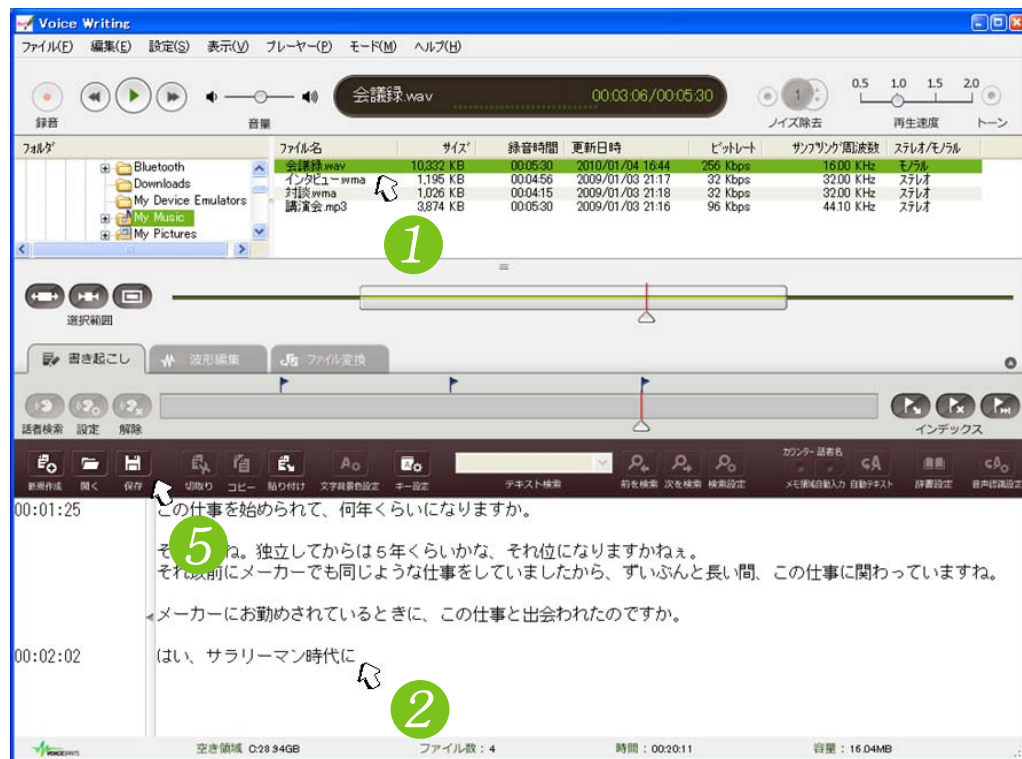
「選択範囲縮小」は、再生選択範囲を縮小します。

お知らせ

- 拡大・縮小倍率は、個別に設定できます。(→15)

Voice Writing を使う

Voice Writing は、下記の手順で書き起こし作業を行います。




1 書き起こしする音声ファイルを選ぶ。

2 書き起こしウィンドウのテキスト領域にカーソルを入れる。


3 [再生・一時停止]を割り当てたキーを操作する
音声ファイルが再生されます。

4 書き起こしウィンドウのテキスト領域に入力する

5  をクリックする
書き起こしたテキストが保存されます。

お知らせ

- 再生する音声ファイルは、下記の手順でも選べます。
 - ①[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。
<ファイルを開く>ダイアログが表示されます。
 - ②再生する音声ファイルを選び、[開く]ボタンをクリックする。
- テキストの切り取り、コピー、貼り付けは、[Ctrl]キー操作でも利用できます。ただし、書き起こしキーに同じキーが割り当てられていると、利用できません。

- テキストファイルは、 をクリックしても保存ができます。
- 初めてテキストファイルを保存する場合、<名前を付けて保存>ダイアログが表示されます。2回目以降は上書き保存されます。
- 別名で保存する場合、右クリックメニューから[名前を付けて保存]を選んでください。

次のページに続く



Voice Writing を使う(つづき)

保存できるファイル形式

書き起こしウィンドウでは、下記のテキストが保存できます。








形式	拡張子	保存内容
Voice Writing 保存形式	*.vmt	テキスト領域とメモ領域(→17)の両方とも、フォント情報を含めて保存します。 *.vmt 形式ファイルをダブルクリックすると、Voice Writing が起動します。
テキストファイル	*.txt	テキスト領域のテキストのみをテキスト形式で保存します。 フォント情報、メモ領域の情報は保存されません。
リッチテキストファイル	*.rtf	テキスト領域のテキスト情報をリッチテキスト形式で保存します。 フォント情報は保存されますが、メモ領域の情報は保存されません。 また、フォント情報を保持しているので、Word で開くと Voice Writing で設定したフォントのままが表示されます。

お知らせ

- LightEdition のフォント情報は、MS ゴシック 12 pt 固定です。

書き起こしウィンドウのボタン

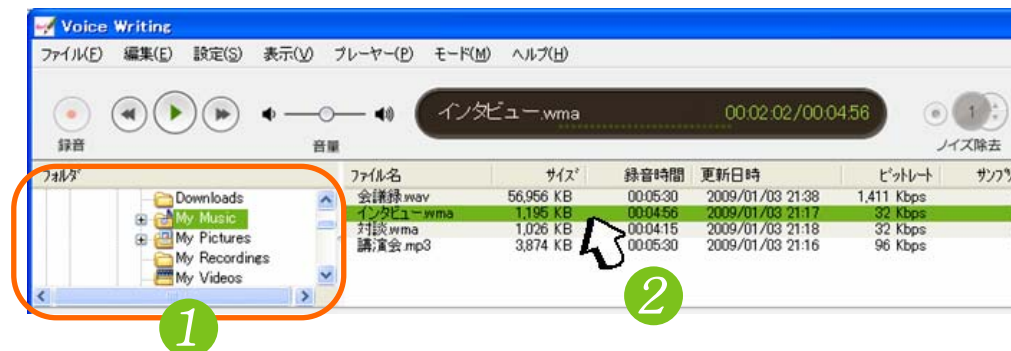
書き起こしウィンドウでは、下記のボタンでの操作が行えます。

ボタン	機能
	書き起こし領域を新しくします。 入力中のテキストがある場合、保存確認のダイアログが表示されます。
	ファイルを開きます。
	ファイルを保存します。 初めて保存する場合は、〈名前をつけて保存〉ダイアログが表示されます。 2 回目以降は、上書き保存されます。
	テキストを切り取ります。
	テキストをコピーします。
	テキストを貼り付けます。
	〈キーの設定〉画面を表示します。(→8)

再生機能を使う

再生時には、下記の機能がご利用できます。

再生操作



お知らせ

- 音声ファイル表示領域には、対応している音声ファイルのみ表示されます。同じフォルダーに Microsoft Office Word / Excel などの Voice Writing で扱えないファイルが存在しても表示されません。
- 一時停止時、「巻き戻しの秒数」設定で「一時停止時に自動実行」に を付けた場合、設定された秒数だけ自動で巻き戻ります。(→8)

再生速度を変更する




1 フォルダー領域から、音声ファイルがあるフォルダーを選ぶ


2 音声ファイル表示領域から再生する音声ファイルを選ぶ

3 再生・一時停止の書き起こしキーを操作する

音声ファイルが再生されます。
同時に、画面の再生ボタンが動きます。

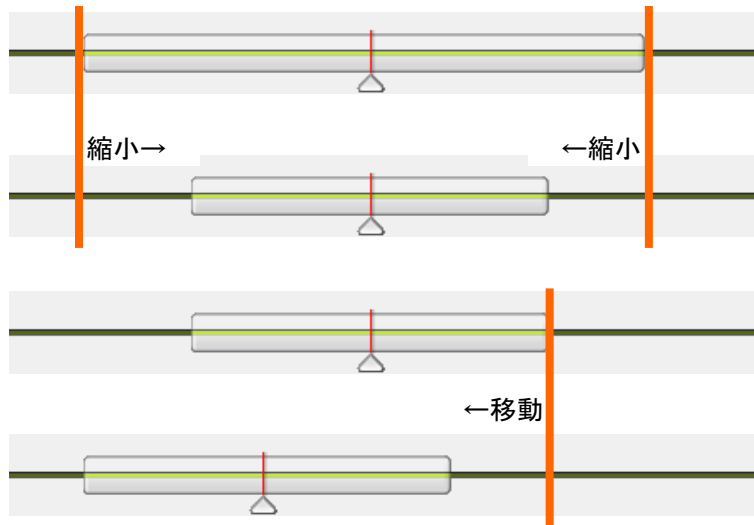
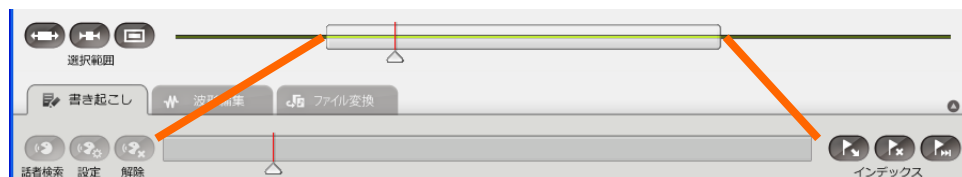
再生速度を変更する書き起こしキーを操作すると、同時にスライダーの  が動きます。(→8)

お知らせ

- 下記の方法でも再生速度の変更ができます。
 - スライダーの  をドラッグする。
 - 変更したい速度位置をマウスカーソルでクリックする。

次のページに続く 


再生範囲について



聞き取りにくい。雑音が混じっている。など何度も再生したい場合、再生範囲を指定して繰り返し再生できます。

「リピート再生」に を付けると、自動的に再生を繰り返します。(→15)

再生選択範囲と、下窓のインデックスは、連動しています。

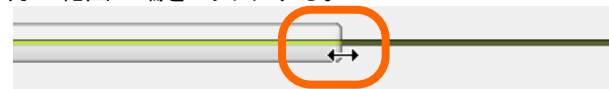
再生位置を示す  が、同じ位置を示しています。

全体の一部を拡大して下窓のインデックスに表示できます。




書き起こしキーで、再生範囲の指定ができます。

お知らせ

- 下記の方法でも再生範囲の変更ができます。
-再生範囲の端をドラッグする。



- 下記のアイコンをクリックする。

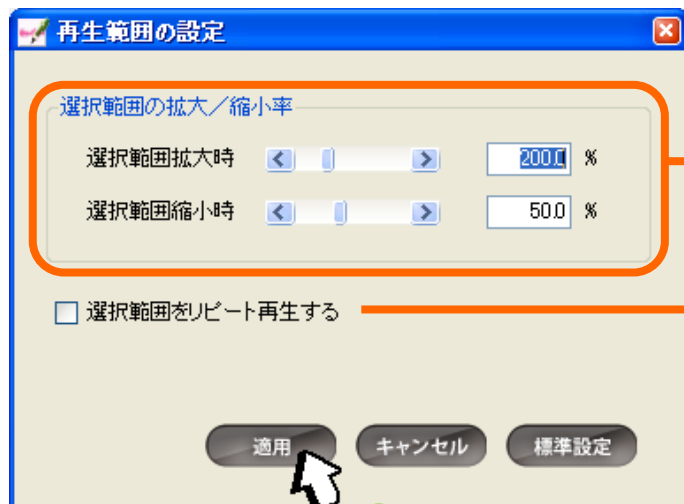
		
選択範囲 拡大	選択範囲 縮小	選択範囲 全て

- 拡大・縮小倍率は、個別に設定できます。(→15)

次のページに続く



再生範囲の設定



選択範囲を拡大縮小するときの倍率を設定します。

1 [設定]メニューから[再生範囲の設定]を選ぶ

〈再生範囲の設定〉画面が表示されます。

■ 拡大縮小率を変更する

選択範囲拡大、選択範囲縮小を実行するときの倍率を決めます。

■ リピート再生

選択範囲をリピート再生する場合、 を付けます。

2 をクリックする

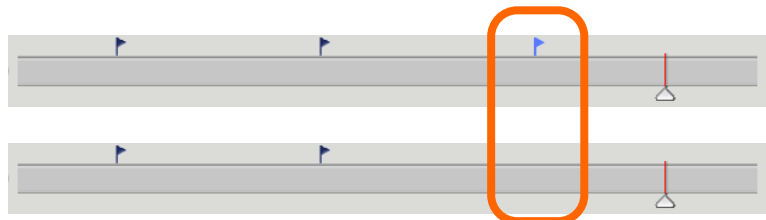
インデックスを使う

気になる位置や再度聞きたい位置にインデックスを付けると、すばやく再生位置の移動ができます。

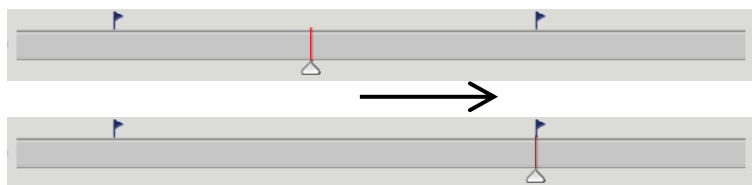
再生位置にインデックスを付ける



インデックスを削除する



インデックス位置から再生する



お知らせ

- 音声ファイルに、インデックスの付加、削除ができます。(最大 32 カ所)
- インデックスの付加、移動は、一時停止中でも設定できます。
- インデックスは、モノラル WAV 形式ファイルにのみ付けることができます。

1 音声ファイルを再生する

2 付加する位置に △ がきたら、▶ をクリックする

▶ が付きます。

1 ▶ をクリックする

2 ▶ をクリックする

▶ が解除されます。

複数の ▶ があるときは、続けて ▶ をクリックすると △ より左側を連続して解除できます。

1 音声ファイルを再生する

2 ▶ をクリックする

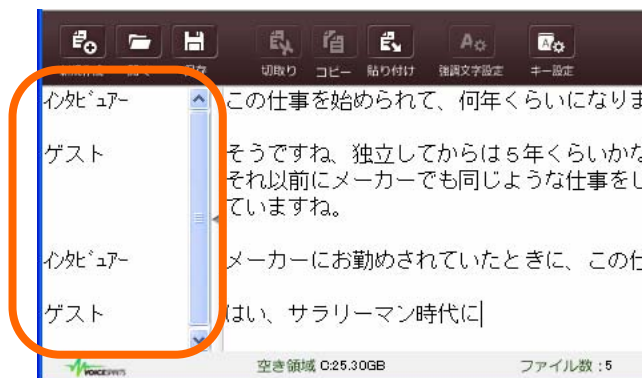
再生位置が次の ▶ まで移動します。

- インデックス情報の保存は下記のタイミングで実行されます。
 - 別の音声ファイルを選択したとき
 - Voice Writing を終了したとき
- 読み取り専用メディアやフォルダー内の音声ファイルや書込み禁止になっている音声ファイルには、インデックス情報の保存はできません。

メモ機能を使う

作業中のメモや気づいた点、後ほど確認したい位置などをメモ機能で残せます。

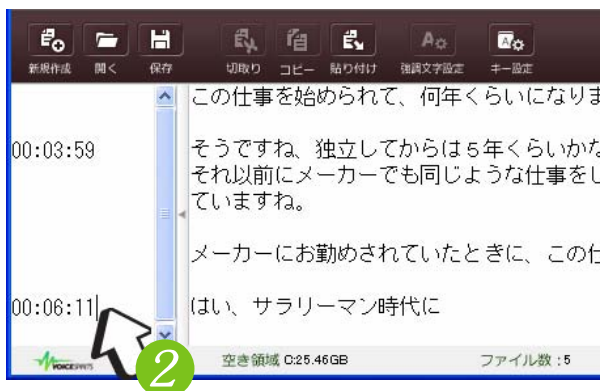
メモ領域にコメントを入力する




メモ領域をクリックすると、メモを入力することができます。

後からのチェックや気になったことをメモできます。

カウンターで再生位置を示す




音声ファイルの再生中の位置を示すカウンターを使って、書き起こした文章と音声ファイルの再生位置の対応ができます。

- 1 書き起こしキーの「カウンターコピー」を実行する
- 2 メモ領域をクリックする
カウンターを入れたい位置にカーソルを移動します。
- 3 「貼り付け」を実行する
または、 をクリックします。

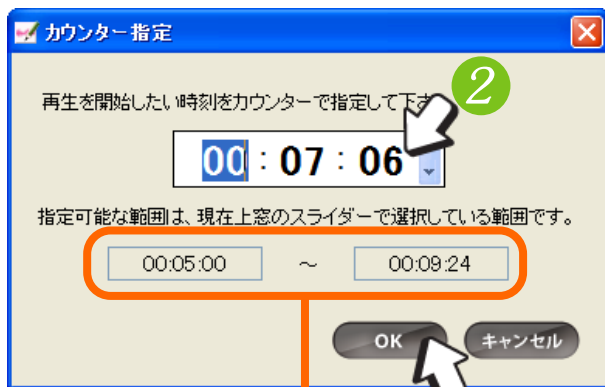
お知らせ

- 「カウンターコピー」を実行すると、再生位置を示すカウンターがクリップボードにコピーされます。
メモ領域の他に、テキスト書き込み領域やテキストファイルなどに貼り付けができます。
- 右クリックメニューの[現在位置のカウンター貼り付け]でも貼り付けができます

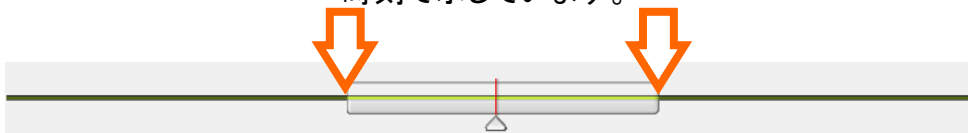
次のページに続く 

カウンター指定

再生する位置を時刻で指定できます。



再生選択範囲を
時刻で示しています。



1 「カウンター指定」を割り当てたキーを操作する

〈カウンター指定〉画面が表示されます。

2 再生する位置を時刻で入力する

3 **OK** をクリックする

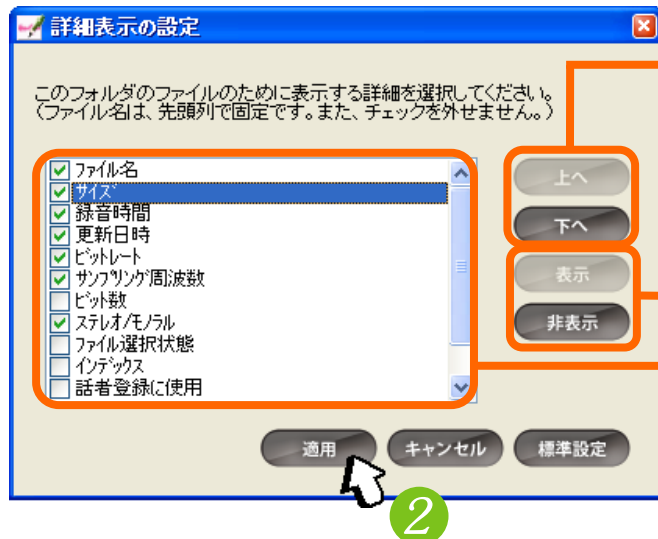
指定した位置に  が移動します。

お知らせ

- 〈カウンター指定〉画面は、[プレーヤー]メニューから[カウンター指定]を選んでも表示できます。

表示項目設定

上窓の音声ファイル表示領域の覧に表示される項目の変更ができます。



1 [設定]メニューから[詳細表示の設定]を選ぶ

〈詳細表示の設定〉画面が表示されます。

■ 表示順を変更する

表示順を変更する項目を選び、**上へ** と **下へ** で順番を変える

■ 項目を選ぶ

表示する項目に を付けます。

表示 と **非表示** をクリックしても、表示/非表示が切り替わります。

お知らせ

●「ファイル名」の は外せません。

2 **適用** をクリックする

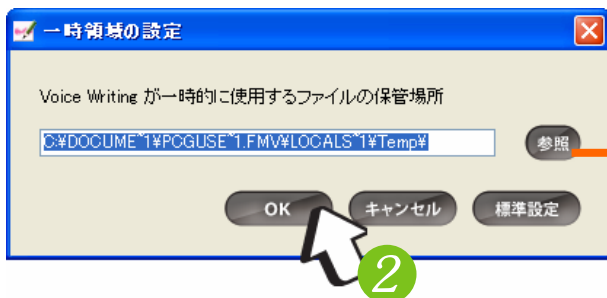
表示項目が変更されます。

お知らせ

- 項目によっては、すぐに表示が変更されないものもあります。
[表示]メニューから[最新の情報に更新]を選んでください。
- 項目には、上位 Edition にのみ有効な項目も含まれています。

一時領域設定

Voice Writing が、一時的に使用するファイルの保管場所を指定します。
たとえば、Dドライブの空き容量に余裕がある場合などに設定します。



1 [設定]メニューから[一時領域の設定]を選ぶ

〈一時領域の設定〉画面が表示されます。

一時領域を変更する

参照 をクリックし、一時領域の場所を変更します。

2 **OK** をクリックする

一時領域の場所が変更されます。

お知らせ

- 初回起動時のデフォルト(または、**標準設定** をクリックした場合は、Windows の Temp フォルダが設定されています。
 - Windows XP の場合
C:\Documents and Settings\%ユーザー名%\Local Settings\Temp
 - Windows 7 / Windows Vista の場合
C:\Users\%ユーザー名%\AppData\Local\Temp
- FDドライブ、書き込みができない光ディスクおよび空き容量が 100 MB 未満のフォルダを設定することはできません。

メニュー一覧

お知らせ

●上位 Edition にのみ搭載している機能および使用できない状態の機能は、グレーで表示されます。

プルダウンメニュー

[ファイル]メニュー

メニュー名	説明
開く	音声ファイルを表示します。
削除	音声ファイル、フォルダーを削除します。
名前の変更	音声ファイル、フォルダーの名前を変更します。
フォルダの作成	上窓のフォルダー表示領域に新しいフォルダーを作成します。
終了	Voice Writing を終了します。(→5) 書き起こし画面のテキストなどが保存されていない場合、保存を確認するダイアログが表示されます。

[編集]メニュー

メニュー名	説明
元に戻す	音声ファイル、フォルダーの編集操作を元に戻します。
切り取り	音声ファイル、フォルダーを切り取ります。
コピー	音声ファイル、フォルダーをコピーします。
貼り付け	切り取り、コピーしたフォルダーを貼り付けます。
すべて選択	音声ファイルをすべて選択します。
選択の切り替え	音声ファイルの選択状態を切り替えます。

[設定]メニュー

メニュー名	説明
キーの設定	書き起こしキーを設定します。(→8)
再生範囲の設定	選択範囲の拡大縮小率を設定します。(→15)
詳細表示の設定	音声ファイル表示領域の項目を設定します。(→19)
一時領域の設定	Voice Writing が一時的に使用する領域を設定します。(→20)

[表示]メニュー

メニュー名	説明
最新の情報に更新	画面や音声ファイルを最新の状態で表示します。
書き起こしウィンドウの表示	書き起こしウィンドウを表示します。(→7)

次のページに続く 

■ [プレーヤー]メニュー

メニュー名	説明
再生	上窓で選択している音声ファイルを再生します。
一時停止	再生中の音声ファイルを一時停止します。
次のファイルへ	選択している音声ファイルの次のファイルを選択します。
前のファイルへ	選択している音声ファイルの前のファイルを選択します。
カウンターコピー	再生中の経過時間をテキスト情報としてコピーします。(→17)
カウンター指定	再生位置を再生経過時間で設定します。(→18)

■ [ヘルプ]メニュー

メニュー名	説明
取扱説明書の閲覧	取扱説明書(本書)を表示します。
ボイススピリッツ社のホームページ	当社のホームページを表示します。
バージョン情報	本ソフトウェアのバージョンを表示します。

右クリックメニュー


各領域で右クリックを押すと、メニューが表示されます。

■ 音声ファイル領域

メニュー名	説明
切り取り	音声ファイルの切り取りができます。
コピー	音声ファイルのコピーができます。
貼り付け	音声ファイルの貼り付けができます。
削除	音声ファイルを削除します。
名前の変更	音声ファイルの名前を変更できます。

■ フォルダー領域

メニュー名	説明
切り取り	フォルダーの切り取りができます。
コピー	フォルダーのコピーができます。
貼り付け	フォルダーの貼り付けができます。
削除	フォルダーを削除します。
名前の変更	フォルダーの名前を変更できます。
フォルダの作成	フォルダーを作成します。

次のページに続く 

■書き起こしたテキスト入力領域

メニュー名	説明
元に戻す	テキストの編集を元に戻します。
上書き保存	編集中のテキストを上書き保存します。
名前を付けて保存	編集中のテキストを別名で保存します。
切り取り	テキストの切り取りができます。
コピー	テキストのコピーができます。
貼り付け	テキストの貼り付けができます。
クリア	テキストを消去します。
すべて選択	テキストをすべて選択します。
キーの設定	〈キーの設定〉画面を表示します。

■メモ領域

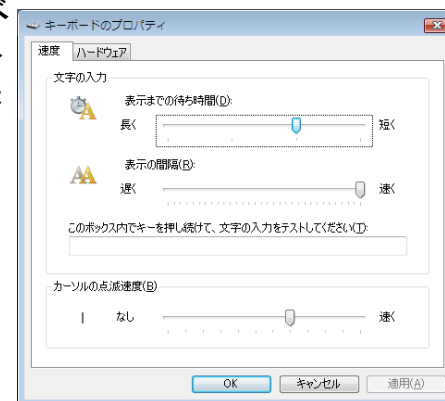
メニュー名	説明
元に戻す	メモの編集を元に戻します。
切り取り	メモの切り取りができます。
コピー	メモのコピーができます。
貼り付け	メモの貼り付けができます。
クリア	メモを削除します。
すべて選択	メモをすべて選択します。
現在位置のカウンター貼り付け	現在表示されているカウンター情報を貼り付けます。(→17)


アンインストールする

- 1 Windowsの「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選ぶ
または「スタート」メニュー→「設定」→「コントロールパネル」を選ぶ
- 2 「プログラムの追加と削除」をクリックする
「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。
- 3 [Voice Writing Light Edition Ver.1.2]を選び、[削除]ボタンをクリックする
確認の画面が表示されます。
- 4 [OK]をクリックする
Voice Writing が削除され、確認の画面が表示されます。
- 5 [完了]ボタンをクリックする

Q&A(よくあるご質問)

質問(Q)	回答(A)	参照先
Macintosh で使用できますか。	現在のところ対応の予定はありません。	-----
このソフトウェアを、アンインストールや再インストールした場合、保存した音声ファイルは残りますか。	残ります。ただし、安全のためにバックアップしておくことをお勧めします。	-----
書き起こしキーを押し続けると、動作が重くなります。	<p>スペックの低いパソコンの場合、キー操作に対応する動作の処理が追い付いていないことがあります。 キーボードのプロパティで、表示の間隔を「遅く」側に移動してみてください。キーボードの押下反応が遅くなりますので、ソフトの動作処理時間を作ることができます。</p> <p>●Windows 7 の場合 スタートメニュー→[コントロールパネル]→[すべてのコントロールパネル項目]→[キーボード]→[速度]タブ→[表示の間隔]を[遅く]にしてください。</p> <p>●Windows Vista の場合 スタートメニュー→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[キーボード]→[速度]タブ→[表示の間隔]を[遅く]にしてください。</p> <p>●Windows XP の場合 スタートメニュー→[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[キーボード]→[速度]タブ→[表示の間隔]を[遅く]にしてください。</p>	-----



次のページに続く 


Q&A(よくあるご質問)(つづき)

質問(Q)	回答(A)	参照先
<p>上位 Edition には、どのような機能がありますか。</p>	<p>● Standard Edition Ver.1.2 の機能 メモ領域と書き起こし領域のカーソル位置の連動 / 文字背景色の反転 再生トーンの切り替え / ミニプレーヤーに切り替え / リピート ON/OFF 機能 再生開始(終了)点設定 / ノイズ除去 / フットペダルとの連携 メモ領域と書き起こし領域のカーソル位置の連動 / 音量均一化機能 テキスト入力領域での文字背景色の設定 / 音声波形編集 / ファイル変換 録音機能 / シンプル再生ウインドウ 書き起こしウインドウ最大化 / 再生位置とメモ領域のカウンタの連動</p> <p>● Enterprise Edition の機能 自動音声テキスト変換機能 / ファイルから学習 XP 専用音声認識ソフト Voice Dictation</p>	<p>-----</p>
<p>上位 Edition の入手方法を教えてください。</p>	<p>Voice Writing のホームページにてご案内しています。</p>	<p>→2</p>
<p>フットペダルは使えますか。</p>	<p>Light Edition では使えません。 Standard Edition 以上でご利用いただけます。</p>	<p>-----</p>
<p>機能改善・追加の要望に応じてくれますか。</p>	<p>ご要望の多い内容から、できる限りお応えできるよう、今後も開発を進めていきます。</p>	<p>-----</p>
<p>画面のボタンなどの配置が乱れて表示されます。</p>	<p>Windows の画面設定を通常のサイズに設定してください。 スタートメニュー→[コントロールパネル]→[画面]→[設定]→[詳細設定]の[DPI 設定]が[通常のサイズ(96 DPI)]になっているか確認してください。</p>	<p>-----</p>

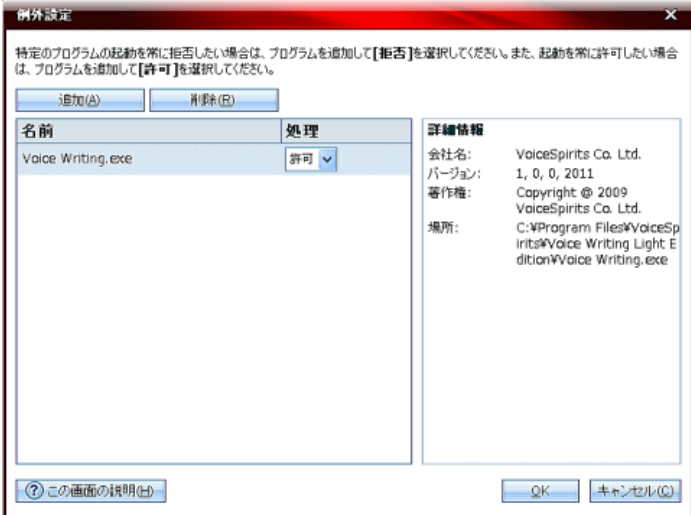


Q&A(よくあるご質問)(つづき)

質問(Q)	回答(A)	参照先
<p>音量が無音(0レベル)でないのに音が出ません。</p>	<p>Windows の「マスタ音量」が無音(0レベル)になっていないか確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Windows 7 / Windows Vista の場合 スタートメニュー→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[システム音量の調整]→[音量ミキサ]を確認してください。 ● Windows XP の場合 スタートメニュー→[コントロールパネル]→[サウンドとオーディオデバイス]→[音量]→[デバイスの音量]→[詳細設定]の[マスタ音量]を確認してください。 	<p>-----</p>
<p>「おこしやす」の設定キーが移行できません。</p>	<p>Voice Writing は、「おこしやす」のバージョンが 0.4.9.0、「Okoshiyasu2」のバージョンが 0.0.9.1 に対応しています。</p> <p>それ以外のバージョンでは、正常に移行できないことがあります。</p> <p>また、「おこしやす」、「Okoshiyasu2」の機能と、Voice Writing の機能が同一でない場合があります。その場合は、引き継げないキー情報があります。</p> <p>尚、既に設定されているキー情報をすべてクリアしてから、インポートしますので、引き継げないキー情報は、すべて解除されますのでご注意願います。</p>	<p>-----</p>
<p>メモ領域と書き起こし領域のカーソル位置が連動しません。</p>	<p>Light Edition は、カーソル位置は連動しておりません。上位 Edition では、メモ領域のカーソル行とテキスト入力行のカーソル行が連動して動作します。また、入力した文章量が増え、縦スクロールが出ている状態になっても一方のスクロールの移動に合わせて他方のスクロールが連動して動作します。</p>	<p>-----</p>

次のページに続く 

Q&A(よくあるご質問)(つづき)

質問(Q)	回答(A)	参照先
<p>起動時に「不審な変更を拒否しました」という内容のメッセージが表示されます。</p>	<p>ウイルス対策ソフト(ウイルスバスターなど)の不正変更の監視を一時的に無効にするか、例外設定に、「Voice Writing.exe」を登録してください。本ソフトウェアは、OSの動作に影響を与える不審な変更は行っておりませんので、安心してご利用ください。尚、不審な変更を拒否したまま、起動しますと、キーの設定操作がご利用いただけません。</p> <p>例)ウイルスバスターの設定方法 ウイルスバスターを起動し、「ウイルス/スパイウェア対策」→「不正変更の監視」→「例外設定」を実行します。下記のダイアログが表示されます。</p>  <p>このダイアログの「追加」ボタンをクリックし、「Voice Writing.exe」がインストールされている場所(C:\Program Files\VoiceSpirits\Voice Writing Light Edition 1.2)に移動し、「Voice Writing.exe」を選択して、「開く」をクリックします。「Voice Writing.exe」が名前に登録されます。処理が「拒否」になっている場合は、「許可」に変更します。最後に、パソコンを再起動させます。</p>	<p>-----</p>

お問い合わせ先

株式会社ボイススピリッツ(VOICESPIRITS Co., Ltd.)

<http://psuf.panasonic.co.jp/voicespirits/index.html>

- 本ソフトウェアはフリーソフトのため、使い方などの個別サポートに関するお問い合わせはご遠慮ください。
- ご要望に関するお問い合わせについては、Voice Writing のホームページをご覧ください。(→2)

商標、ライセンス

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista® および DirectX® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM® および PC/AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面静止画を使用しています。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

株式会社ボイススピリッツ(VOICESPIRITS Co., Ltd.)

〒540-6114

大阪市中央区城見 2 丁目 1 番 61 号 MID タワー14F